

平成24年度

第2回大滝区地域協議会

日時： 平成24年8月1日（水）
午後3時30分～午後4時30分
会場： 大滝総合支所2階大会議室

○ 出席者

・ 地域協議会委員

1号委員： 今井 良 元谷 隆 桂川義治
2号委員： 中川 学 佐藤富貴子 石野良一
3号委員： 小室哲子 近藤春夫 ……以上8名

欠席者： 佐々木 剛 岩花幸子 阿戸孝之 梅津和弘

・ 市 武川支所長 岩渕課長 石澤課長 進藤主査
三戸部部長 金子課長

・ 記者 1名

・ 傍聴者 なし

事前協議の案件

(1) 大滝保育所における保育時間等の変更について 資料1

(2) 英語指導助手のJETへの切り替えについて 資料2

上記案件については、現在市の方で進めている施策についての事前の情報提供として、各委員の意見を徴したものである。

協議案件に対する意見等

(1)の案件についての意見

(質問) バスは大滝独自の子育ての施策だったと思うが、どのようにバスに乗るか乗らないか判断しているのか。

(回答) 保護者の方の就労時間によって、4時半まで迎えに来られるかどうか判断している。現状は、迎えに来られる状態となっている。

(質問) 今後、本町以外で車のないひとり親世帯とかがあったとして、是非利用したいという話があった場合はどうなるのか。今後このような話が出ないとは限らない。

(回答) 朝のバスについては、今のところは継続していくことで考えている。帰りについては、現在利用している方がいない状況となっている。将来的に必要とする方がい

ないとは言えないが、今の状況からは保護者が児童を迎えに来られるものと考えている。

(質問) 飛地合併をして、大滝区は伊達市の奥座敷と言われている。色々な面でリスクを感じながら生活をしている。このようなことを市として受け止めて欲しい。保育所バスの運行は、子供に優しい政策である。せめて冬期間だけでもバスを運行するなど、大滝区は子育て特区として子育て支援を推進してほしい。

(回答) 大滝区の保育料は、合併協定の中で5年間は旧大滝村時代の保育料とし、平成24年度以降伊達市の保育料に合わせていくこととなっていたが、現在、変更をせず旧利用のまま継続している。国の基準の半額程度となっている。今回の改正においても、延長保育料の廃止の方向で検討しているなど、大滝区においては、子育て支援策の充実を図っているところである。また、バスについては、通園に支障がでる場合には、もう少し大きな視点で考えなくてはならない。

(質問) バスを廃止するということが問題点があると思うんですが、現在利用している保護者への説明はしているのか。

(回答) 午後4時30分までにお迎え可能な場合は迎えに来ていただくよう、入所説明会及び4月以降は必要に応じ保育所から説明している。また、児童家庭課からも6月に文書で通知している。現在は7月からバスの利用者はいない。

(2)の案件についての意見

(質問) 今3名の英語指導助手がいるが、アンジェラは大滝だけでなく、伊達の方にも行っているのか。

(回答) 1学期の部分で言うと、JETから派遣されている方が1名、伊達に住んでいる臨時講師の方が1名、アンジェラを入れて3名。アンジェラは大滝の小中学校と伊達中学校を受け持っている。今回、臨時講師の方が1月で辞めることになり、アンジェラでは全部カバーできないので、JETの2名体制を進める。JETの2名体制でいくと、大滝小中学校もカバーできることになるが、アンジェラについては、来年の7月まで契約期間があるので、来年の7月までは現行通り大滝の小中学校をカバーしてもらおう。来年の9月以降のレイクカウチンからの英語指導助手の対応に協議したいということであり、現行通り続けるのか、カナダからの派遣を完全に切りJETの2名体制で、英語助手のプログラムに乗せていくのかということになる。

(質問) 今まで培ってきたレイクカウチンとの交流を続けてきたことは、大変なご苦労だったと思う。それに、一般の英会話教室に通っているが、すごく雰囲気がいいし、とにかく楽しい。イベントを開くと子ども達もたくさん集まって来て楽しく参加し

ているので、この事業は是非継続してほしい。

(質問) カナダからの対応としてはどう考えているのか。また、小中学校の対応は。

(回答) 具体的な話はまだしていない。今までの経過で、レイクカウチン町在住の方が来られなく、近隣の市町村から募集して来ていただいた場合もある。どちらにしても、アンジェラの任期が来年の7月までであるので、それまでは継続する。それ以降の部分についてはレイクカウチン町にまだ打診していない。今実施している中学生の国際交流事業は継続していく。

(質問) 大滝はこの国際交流を始めてから、子供たちがほんとに変わったと思う。一番影響がでているのが子供だと思う。発音に関しては管内でもかなり上位にいつていると思うし、いままで引き継がれて現在の英語に対する向上心があると思うので、できたら、今まで続いた交流はしていく方がいいと思う。人数は少ないがそれなりに成果が上がっているということを中心にとめてほしい。

(回答) 英語を学校で習う時の助手に関しては、JETへ移行した。ただ、大滝の地域として国際交流の観点で続けていくのは非常にいいことだと思う。ただ、今のアンジェラの分の事業費は、市の教育委員会の方で予算化しているが、今後大滝区の独自事業で実施していくと、基金からの財源補てんという問題もでてくる。

(質問) JETの2枚体制で経費はどのくらいかかるのか。

(回答) 5百万弱なので、2名で1千万くらいです。JETプログラムは交付税措置があり、ほぼ全額が算定額に入っている。

(質問) できるだけ早めに決めないと、アンジェラの代わりを探すのも大変だと思うので、よろしくをお願いします。

(回答) この件については、団体やサークルの方々とも意見交換をさせていただきながら、またあらためてご提案したい。